

おもしろい形の農産物 募集

農業まつりの品評会で「おもしろ野菜部門」を開催します。人の顔に見えるジャガイモや足が生えたナスなど、農家・市民問わず大募集！来場者投票で入賞作品を決定します。

日 11月16日(土)受付9時～10時※雨天中止

所 手賀沼親水広場

申 農産物を持参の上、受付で必要事項を記入※展示された農産物は出展者に返却します。詳しくは市ホームページをご覧ください。

問 農政課 ☎04-7185-1481



▲市HP



▲作品例「コーテーペンギン」

ポールウォーキングを楽しむ会

晩秋ののどかな風景を眺めながら散策

日 11月2日(土)9時～12時30分

所 天王台駅改札集合

内 天王台駅～八幡神社・無量院～我孫子警察署～柴崎天満宮～石尊宮～東源寺～円福寺～柴崎神社～天王台駅

対 5km以上歩ける方

定 先着30人 費 無料

持 歩きやすい服、飲み物、タオル、ポール(貸し出し可)

申 10月31日(木)(必着)までに、ちば電子申請サービスまたははがき・電話・ファクスで氏名、年齢、電話番号、ポールの有無を明示。〒270-1166我孫子1684教育委員会文化・スポーツ課 ☎04-7185-1604 ☎04-7185-1760



▲ちば電子申請サービス

手賀沼流域フォーラム

岡発戸・都部の谷津で晩秋の生きもの探し

日 11月9日(土)9時30分～12時※雨天時17日(日)

所 谷津ミュージアム作業小屋

師 柄澤保彦さん

定 先着20人※小学生以下は保護者同伴

費 無料

申 10月17日(木)～電話・ファクスで氏名、年齢、学年、電話番号を明示。岡発戸・都部の谷津を愛する会・田島 ☎04-7188-8778



白樺文学館コレクション展～原田京平関係資料～

日 11月1日(金)～令和7年2月24日(木)9時～16時30分(入館16時まで) ※月休館(祝休の場合は翌平日)

所 白樺文学館

内 コレクションの一つである我孫子を描いた画家・原田京平の資料を紹介

入館料 300円(高校・大学生200円、中学生以下無料)

問 教育委員会文化・スポーツ課 ☎04-7185-1583



▲原田京平「手賀沼と小舟」

遊具うんどう教室講習会

公園に設置されたうんどう遊具の使い方を紹介します。ボランティアも募集します。

日 11月13日(水)10時～11時(受付9時50分～)

所 布佐南公園※雨天時は布佐南近隣センター

対 市内在住で65歳以上の方(申込不要)

費 無料

持 動きやすい服、帽子、タオル、飲み物

問 高齢者支援課・内線413



新春マラソン 出場者募集

日 令和7年1月26日(日)受付8時～9時※雨天実施、荒天中止

所 湖北台中学校、手賀沼ふれあいライン

ゲストランナー 中央学院大学駅伝部など

距離	種目	内訳	定員	費用
1.5km	親子ペア	小学1～3年生と保護者(2人1組)	先着100組	1組2,000円
	小学生	4～6年生(男女別・学年別)		
3km	中学生	1～3年生(男女別・学年別)	先着1,200人	700円
5km・10km	一般	男子…高校生～19歳、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳以上 女子…高校生～29歳、30歳～40歳代、50歳以上	先着600人	2,500円

※1人1種目 ※小・中学生は保護者の同意必須

対 完走できる方(一般の部10kmは80分以内)

申 11月1日(金)～15日(金)にRUNNETホームページ(大会ホームページ参照)※グループ申込可

問 実行委員会 ☎04-7137-7168 (火～木)8時30分～15時30分※祝(休を除く)



▲大会HP

湖北サンバ2024

日 10月27日(日)10時～16時30分※雨天中止

所 湖北駅南口周辺※駐車場なし

内 サンバパレード(14時～14時45分、15時45分～16時30分)、フリーマーケット、飲食・物品販売、こども広場(こども店長の店、ピンボール、カプセルトイなど)※詳しくはサンバホームページをご覧ください。



問 実行委員会・堀北 ☎090-2546-7052 (月～金)10時～16時



▲サンバHP

文芸だより

短歌

手賀沼のながき水面がおぼろげに現れ出でぬ朝霧のなか (新かな) 矢部 重夫

霧の中から、ぼんやりと現れ出たという。幻想的な情景を巧みに捉えた一首。

白樺の涙のごときとんぐりの一粒おちて秋が深まる (新かな) 小屋野優子

咲きたわむ萩の細枝について来てつかまり遊ぶアキアカネひとつ 新藤 道子

今朝の道しめり気帯びて清々し片づけ上手な昨夜の台風 (新かな) 山本賢二郎

俳句

旅立ちの帰燕の空や夕日影 (新かな) 相川 健選 (投稿数19句)

【評】春に渡り来た燕は、秋には南の国へ帰っていく。夕映えの美しい大空を燕が群れを成して帰る光景は寂しいが、燕にとっては新たな旅立ちとなる。

短日やさらさら落ちる砂時計 (新かな) 小山英次郎

子は親を超えてゆくもの銀杏散る (新かな) 牛木 理恵

地図のよう背中にできた日焼けあと (新かな) 小俣 たか子評

投稿方法 毎月20日(必着)までに、①LINE投稿②はがきに作品(1人1作)、住所、氏名、年齢を明記。〒270-1192市役所秘書広報課広報室(住所省略可)※作品は選者により添削する場合があります。※「青少年の部」(18歳以下)も募集しています。